

道徳 - 6 (第5学年) 自分と異なる考えや思いに接することができるように工夫した事例

【学習活動の概要】

1	主題名 集団での責任を果たす (役割自覚・責任)	
2	資料名 マネージャー 東京都道徳教育郷土資料集(第1集)	
3	<p>ねらいとする道徳的価値について</p> <p>人間は社会的存在であり、家族という集団から始まり、学校や地域など、かわりを拡充しながら生活していく中で、刺激を受けたり励まされたりしながら成長していく。また、その集団の目的達成のためにそれぞれが役割をもち、果たすことによってより自己実現を図る。一人一人が自分と集団が支え合う関係であることを自覚し、主体的・積極的に行動することにより、集団は向上し、個々の人間的成長も図ることができる。高学年では、様々な集団に所属しており、役割があるが、必ずしも自分の願いに適ったものばかりではない。集団の向上と自分の人間的成長のためにも、役割を自覚し、主体的に責任を果たしていこうとする心情の高まりが大切なのである。</p>	
4	<p>資料</p> <p>野球は決してうまくはないが努力家の須崎君が、ある日、監督からマネージャーにならないかと言われる。苦悩、挫折、妥協など様々な気持ちの葛藤を乗り越えて、須崎君はマネージャーになることを決意する。そして、最後は役割を前向きにとらえ、チームのために責任を果たした須崎君をチームのみんなが胸上げをする。須崎君の心を想像することでどんな役割でもそのことを自覚し、みんなのためにやるべきことを考えて主体的に責任を果たそうとする態度を育てたい。</p>	
5	<p>本時の学習活動</p> <p>【ねらい】 集団における自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。</p>	
	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1. 野球について知る。 ピッチャーやキャッチャーなど、集団を作ってチームプレーで行われる。	マネージャーの役割や仕事を紹介する。
展開	2. 資料「マネージャー」の範読を聞き、話し合う。 マネージャーになってくれないかと言われた須崎はどんな気持ちだったか。 須崎くんは、マネージャーの役割を引き受けたが、仕事をしながら、どんなことを考えただろう。 チームのみんなは、どんな気持ちで須崎君を胸上げしたのだろう。 胸上げされながら、須崎くんはどんなことを考えていただろう。 3. 今までの生活を振り返る。 みんなのために役割を果たしている友達はあるか。また、自分はどんな気持ちで役割や仕事に取り組んでいるか。	希望しない役割を頼まれた須崎君の絶望感や当惑など、葛藤している気持ちを想像する。 言語活動の充実 自分と異なる考えや思いに接することができるようにし、考えをより深めるために問い返しなどを行う。 自分の責任を果たしたときの思いを考えさせる。
終末	4. 自分の仕事に責任をもって取り組む児童の様子を話す。	ワークシートに書くことで今までの自分を振り返らせる。

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・道徳の第2内容の第5学年及び第6学年の「4 - 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」に関する事例である。本事例は、集団における自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を育てることをねらいとして、道徳的価値に対する感じ方や考え方、体験を交えながら話し合いを深めるよう工夫したものである。

【言語活動の充実の工夫】

道徳の時間の学習は、中心的な資料が生かされ、児童の体験や資料に対する感じ方や考え方を交えながら話し合いを深めることが学習活動の中心となることが多い。その意味からも、道徳の時間における言葉の役割はきわめて大きい。道徳の時間は、国語科で養われた能力を基本に、資料や体験などから感じたこと、考えたことをまとめ、発表し合ったり、討論や討議などにより意見の異なる人の考えに接し、協同的に議論したり、意見をまとめたりする。

本時は、マネージャーとして自分の役割を遂行しようとする須崎君の気持ちや行為の動機などを考える学習を行う。友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたり、話し合ったりするなかで、集団における役割の意義やそれを責任をもって行うことなどについて考えを深めていく。

このとき、児童の発言の背景にある思いや願いを児童自身が明確にできるようにするため、教師の適切な問い返しを行う。このことは、児童が道徳的価値を理解する上で極めて重要である。

言語活動の実際（展開2の概要）

T 1 2週間が経ちました。須崎くんはグラウンドに帰ってきて、マネージャーを引き受けます。マネージャーの仕事をしなが、どんなことを考えていたのだろう。

- C 1 みんなもがんばっているから、ぼくもがんばりたい。
- C 2 練習をしているみんながうらやましいと強く思うが、がんばりたい。
- T 2 どうしてがんばりたいと思えるようになったのかな。
- C 3 野球が好きだから。
- C 4 マネージャーも野球のうちだと思えたから。チームの一員と考えたから。
- T 3 でも、マネージャーの仕事をしているとき、みんなは、野球をしていたよね。がんばろうっていう気持ちだけだったのかな。
- C 5 なんでぼくがマネージャーなのか。
- T 4 どういうことですか。
- C 6 まだ、野球をしたいという気持ちがあると思う。
- T 5 そうか。まだマネージャーの仕事に納得しきれてないってことかな。残念ながら、試合には負けてしまいました。そのとき、キャプテンの「胴上げしよう」の言葉で、須崎くんのもとにみんなが集まりました。みんなは、どんな気持ちで胴上げをしたのかな。
- C 7 ありがとう。チームを支えてくれてありがとう。
- C 8 みんなのためにありがとう。マネージャーを引き受けてくれてありがとう。
- C 9 自分も野球をやりたいはずなのに、その気持ちをおさえて、マネージャーの仕事がんばってくれた。
- C 10 須崎くんあってのチームだ。
- T 6 逆に、胴上げされる須崎くんはどんなことを考えていたのかな。
- C 11 最初はいやだったけど、やってよかった。
- C 12 強いチームにしよう。みんなのためにがんばろうという思いが伝わったと思えた。
- C 13 チームのみんなが見ていてくれたんだ。
- C 14 裏で、目立たないけど、やってよかった
- C 15 なんでぼくが胴上げされるのかという思いだった。

登場人物の思いを自分とのかかわりで考え話し合うことで多様な思いを引き出す

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類：